

頸城区 50号 2026・3 地域協議会だより

発行 頸城区地域協議会
編集 頸城区地域協議会事務局
(頸城区総合事務所
総務・地域振興グループ)
☎ 025-530-2311
FAX 025-530-2001

令和8年度 地域独自の予算事業一覧

頸城区の地域独自の予算事業は12件の事業(新規1件、継続11件)で合計13,781千円の予算となっています。

事業名	実施主体	事業内容	予算額 (千円)
大池いこいの森施設運営事業	NPO法人頸城区観光協会	大池・小池の魅力を活かし、交流人口の拡大を図るため、ビジターセンターを拠点にキャンプ場の運営と物品販売等のサービスを提供する。	4,560
大池の四季散策と親子イベント体験事業	NPO法人頸城区観光協会	大池・小池の魅力を活かし、交流人口の拡大を図るため、四季を通じて身近な大池の自然を体験する散策ツアーや親子イベント体験を行う。	430
大池のキャンプ場を活かし、遊歩道から山城巡回を楽しむ事業	雁金城跡保存会	大池に近接する雁金城跡を活用し、地域への愛着の醸成や交流人口の拡大を図るため、大池・小池の利用者が雁金城跡に安全に登れるよう大池側からの登山道の整備や歴史講座などを行う。	389
ふるさとの宝を保存し、後世に歴史的意義を伝える事業	NPO法人くびきのお宝のこす会、市	地域の大切な宝であるくびき野レールパークを活用し、地域への愛着の醸成や交流人口の拡大を図るため、車両の乗車体験などによる一般公開のほか、安全に走行できるようレールの枕木交換や車両整備を行う。	909
「頸城の名家・白田邸」活用事業	上越の歴史的建造物と景観を守る会	地域の大切な宝である白田邸を活用し、地域への愛着の醸成や交流人口の拡大を図るため、白田邸の魅力を伝える建築説明会や白田邸を会場としてお茶やお花などの日本文化を体験する講座を開催する。	288
【新規】 「瀧本邸の保存・再生・活用と新たな観光産業創出検討ワークショップ」事業	上越の歴史的建造物と景観を守る会	地域の大切な宝である瀧本邸を活用し、地域への愛着の醸成や交流人口の拡大を図るため、瀧本邸の「保存・再生・活用」をテーマに市民参加型のワークショップを行い、今後の瀧本邸の活用策の検討を行う。	262
坂口記念館の特色を活かした講座事業	市	坂口記念館の魅力を発信し、交流人口の拡大を図るため、坂口記念館で発酵文化を広める講座を開催する。	143
頸城線植栽モデル事業	くびき花の会	区内を花いっぱいにする活動を通じて、住環境の整備やコミュニティの醸成を図るため、頸城線の植樹帯40メートルの間に花木を植栽する。	576
花の苗 里親育成事業	市	区内を花いっぱいにする活動を通じて、住環境の整備やコミュニティの醸成を図るため、坂口記念館を拠点に挿し木講習会を実施し、里親育成に取り組むとともに、挿し木で頸城区推奨の花を増やす。	281
外国人市民との交流及びファーマーズマーケット	縁	地域住民と外国人市民との食を通じた国際交流を深めるとともに、農業の魅力を発信するため、地域住民と外国人市民が一緒になって畑作業や収穫した野菜による料理教室や農産物と食を交えた交流イベントを行う。	4,339
頸城区の情報を定期的に発信するポータルサイト事業	ジモ活Base	頸城区の情報発信を通じて区内の活動団体の活性化や連携強化を図るため、活動団体の事業内容を広く周知するため、活動団体への取材を通じた活動紹介やイベント告知、SNS活用講座などを行う。	846
くびき冬季フェスティバル	くびきお祭ネットワーク	イベントの少ない冬季に子供たちが楽しみながら雪に親しみ、頸城区の伝統や歴史を継承できるよう、頸城の歴史等を題材としたジャンボかるたやボードゲームのほか、かまくら作りや雪の迷路などのイベントを行う。	758
12件			合計 13,781

地域独自の予算事業活動紹介

令和7年度の地域独自の予算事業では、13件の事業を実施しています。
今回は、活動の一部を紹介します。



外国人市民との交流及び ファーマーズマーケット

令和7年11月3日、ユートピアくびき希望館の広場を会場に開催された「国際交流ファーマーズマーケット」。あちらこちらに設置されたテントやブースでは、ご飯のお供になる食品の試食と販売、海外の食品や調味料の販売、採れたて野菜のマーケットなどが行われていました。小雨が降るあいにくの天候でしたが、20以上の出店者の皆さんの当日に至るまでの活動や来場者を温かく迎える姿から、人と人とのネットワーク、人や資源のつながりを強く感じました。このような「食」を介した国際交流活動の一つの契機として、外国人市民を含めた地域住民が互いの文化や生活様式の違いを認め、支え合う共生社会が根付いていくことを願っています。

地域協議会委員 上村 淳



南川地区大規模防災訓練

近年、全国各地にて災害が発生しており、避難生活を送る地区が増えております。能登半島地震の時には、津波警報が発令し、私たちも避難しました。このことを踏まえて地域住民が相互に連携し、災害時に円滑に防災活動が行えるようにするために、防災知識と避難行動の習熟を図ることを目的として訓練を実施しました。また、この訓練は、地域内に居住する外国人市民及び南川地区町内会と隣接する町内会、企業とともに合同訓練を計画して行いました。

初めに各町内会の自主防災訓練を行うことから合同訓練場所（小学校）へ移動し、次に体育館で避難所運営と生活の講話、避難所生活の準備態勢（トイレ・段ボールベッド・仕切りテント）等の組立などの訓練をしました。

今後、誰ひとり取り残さないためにも、個人の防災意識を高めるためにも、防災訓練の参加をお願いします。

地域協議会委員 小川 泉



地域独自の予算事業とは…それぞれの地域の課題を解決し、活力の向上を図るために、地域の実情にあった取組を更に実現していくことを目的とした上越市の事業です。

ふるやこの宝を保存し、
後世に歴史的意義を伝える事業

「見て、触って、乗って楽しい」をキャッチフレーズに、くびき野レールパークは開設から21年目を迎えました。年間2000人以上の来訪者が訪れ、親子連れや鉄道ファンからも楽しんでいただける鉄道ミュージアムになってきています。

毎年、頸城区内の小学校3年生が総合学習でレールパークを訪れ、頸城鉄道の歴史やレールパークの歩みを調べに來ています。昨年も南川小学校の3年生が数回調査に訪れ、わかったことを地域の人々に伝える発表会活動を行いました。地域に残るものを大切にするとともに、地域を誇りに思う活動はとても素晴らしいと思います。

くびきのお宝のこす会
会長 西山 義則

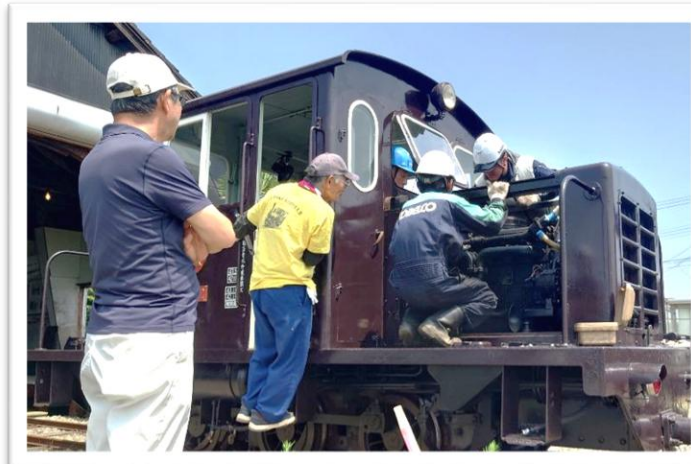


地域独自の予算事業を活用して

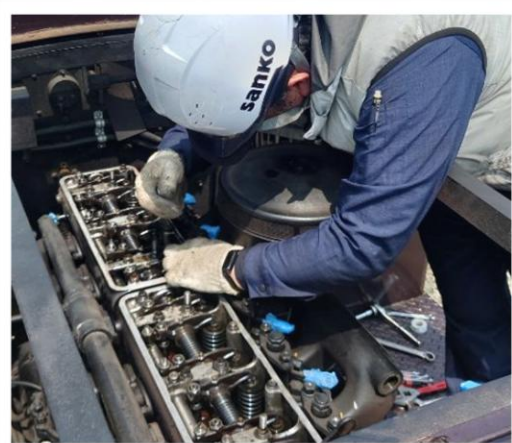
DC92のエンジン部分を修理しました



クレーン車にてエンジン部分の蓋を外している様子



心配そうに見守る くびきのお宝のこす会さん



作業は一つ一つ慎重に行われました

難易度MAX!!
DC92エンジン修理

レールパークでホジ3とともに体験乗車を担い、多くの来場者を喜ばせてきたディーゼル機関車DC92。近年は不調が見られ、動態保存が危ぶまれた状態となっていました。エンジンは製造から約70年ですでに整備書や部品もなく、どの業者からも断られる中、地元企業が苦労を承知で修理を引き受けてくださいました。分解から部品の研磨・製作、組付けまで、試行錯誤で何度も調整を繰り返し、半年ほどでようやく修理が完了しました。春の公開をお楽しみに！

地域協議会のうごき

■ 9月17日 第4回地域協議会

- ・公の施設の使用料等の見直しについて（報告）
- ・令和8年度地域独自の予算事業提案状況について（報告）

■ 10月29日 第5回地域協議会

- ・自主的な審議で取り組むテーマについて（自主的な審議）

■ 11月19日 第6回地域協議会

- ・自主的な審議で取り組むテーマについて（自主的な審議）
- ・上越市地区公共交通懇話会について（報告）

■ 12月17日 第7回地域協議会

- ・自主的な審議で取り組むテーマについて（自主的な審議）

■ 1月14日 第8回地域協議会

- ・自主的な審議の進め方について（自主的な審議）

■ 1月14日 外国にルーツのある中学校生徒への学習支援に関する意見交換会

- ・事業概要の説明
- ・事業の課題及び成果
- ・意見交換



頸城区地域協議会の活動状況は市のホームページで公開しています。詳しくはこちらの二次元コードからご覧ください。



大池のキャンプ場を活かし、遊歩道から山城巡回を楽しむ事業

地域独自の予算事業を活用した雁金城跡保存会の研修で、令和7年10月25日に板倉区の箕冠城跡と大廣寺を視察しました。箕冠城跡では、巧妙に配置された空堀や郭の構造を確認し、上杉軍の拠点としての堅固な防衛機能を実地で学びました。雁金城との共通点や相違点を探ることで、当時の山城ネットワークの重要性を再認識する貴重な機会

となりました。

また、上杉謙信公ゆかりの大廣寺では、歴史的な寺宝や由緒に触れ、地域の信仰と武将の関わりについて知見を深めました。今回の研修で得た知見を、今後の雁金城跡の保存・整備活動や、郷土の歴史継承に活かしてまいります。

地域協議会
副会長 新保 哲男



編集後記

例年にならない大雪に見舞われた今冬、除雪作業や日々の暮らしに心身ともにお疲れのことと存じます。ようやく頸城区にも日差しが戻り、雪解けとともに春の気配が整いつつあります。

本号では、令和8年度の「地域独自の予算事業」をはじめ、活気あふれる「ファーマーズマーケットや南川地区の防災訓練、くびき野レールパークの公開、DC92の修理、さらには板倉地区への城跡視察など、多岐にわたり地域協議会に関わりのある地域独自の予算事業の活動を振り返りました。

歴史文化の継承から防災、産業振興まで、皆様の熱意が地域の力となっていることを改めて実感しています。

1年間、地域協議会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。地域協議会はこれからも「住みたい、訪れたい」まち頸城区をテーマに頸城区がより一層輝き、笑顔があふれ、次世代に誇れるまちとなるよう尽力してまいります。

皆様にとって、この春が希望に満ちた新たな門出となりますように。

（地域協議会副会長 新保 哲男）